

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●藤岡康太騎手がJRA通算700勝を達成

9月10日(土)の5回中京1日・第8レースではブラックシールドが1着となり、同馬に騎乗した藤岡康太騎手(栗東・フリー)は、史上65人目、現役では31人目となるJRA通算700勝(9643戦目)を達成しました。

### ●水沼元輝騎手がJRA初勝利をあげる

9月11日(日)の4回中山2日・第1レースではネバレチュゴーが1着となり、同馬に騎乗した水沼元輝騎手(美浦・加藤和宏厩舎)は、JRA初勝利(62戦目)をあげました。

### ●サマーシリーズ2022の各チャンピオンが決定

9月11日(日)に行われた産経賞セントウルS(GⅡ)および京成杯オータムハンデ(GⅢ)をもって、本年度のサマースプリントシリーズとサマーマイルシリーズが終了しました。サマースプリントシリーズでは、ナムラクレア(牝3歳/栗東・長谷川浩大厩舎)が第1戦・函館スプリントS(GⅢ)1着、第4戦・テレビ西日本賞北九州記念(GⅢ)3着で計14ポイントを獲得、サマーマイルシリーズでは第1戦・米子S(L)と第3戦・関屋記念(GⅢ)を制したウインカーネリアン(牡5歳/美浦・鹿戸雄一厩舎)が計18ポイントを獲得し、それぞれシリーズチャンピオンに輝きました。またサマージョッキーズシリーズでは、函館スプリントSなどを勝った浜中俊騎手(栗東・フリー)が計24ポイントでチャンピオンの称号を手に入れています。

### ●スワーヴアラミスとタガノエスプレッソの競走馬登録抹消

2022年東海テレビ杯東海S(GⅡ)などの勝ち馬スワーヴアラミス(牡7歳/栗東・須貝尚介厩舎)は、8月10日(水)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績32戦9勝・地方2戦0勝で、地方・大井競馬へ移籍しています。2014年デイリー杯2歳S(GⅡ)などの勝ち馬タガノエスプレッソ(牡10歳/栗東・五十嵐忠男厩舎)は、8月20日(土)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は44戦9勝で、今後は北海道新冠町のタガノファームで種牡馬となる予定です。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●ヤングジョッキーズシリーズ トライアルラウンド園田の結果

2022ヤングジョッキーズシリーズ トライアルラウンド園田は9月8日に実施され、第1戦は泉谷楓真騎手(栗東)、第2戦はこれが生涯初勝利となる川端海翼騎手(栗東)が優勝しました。

### ●園田オータムTは無敗馬エコロクラージュ【各地の主要3歳重賞】

園田オータムトロフィー(9月8日、園田、1700<sup>米</sup>)は、3番手を選んで2番人気のエコロクラージュ(牡、父コパノリッキー)が直線半ばで内から抜け出し、無傷の6連勝を達成。不来方賞(9月4日、盛岡、2000<sup>米</sup>)は、最後方から追い上げた2番人気の北海道からの転入馬マナホク(牡、父トッサワールド)が残り200<sup>米</sup>を切った辺りで差し切り、岩手三冠が懸かった単勝1.7倍で断然人気のグッドクレンジングは8着でした。サラブレッド大賞典(9月4日、金沢、2000<sup>米</sup>)は、後方から差を詰めた単勝1.8倍で1番人気のスターフジサン(牝、父フリオソ)が4コーナーで先頭に立って押し切りました。

### ●シャマルらが参戦、9月21日のオーバルスプリント(浦和)

オーバルスプリント(JpnⅢ、9月21日、浦和、1400<sup>米</sup>)は、今年JpnⅢ2勝のシャマルが中心、以下リメイク、ティーズタンク(浦和)、イバル、オパールシャルムの順に有力視されます。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●イギリスのエリザベス女王陛下が崩御

イギリスのエリザベス女王が現地9月8日に崩御しました。エリザベス女王は競馬、そして馬に対する深い愛情と情熱を持つことでも広く知られ、G1英1000ギニーとG1仏オークス(ともに1974年)を制したハイクレア(ディーピンパクトの曾祖母)、G1英オークスとG1英セントレジャー(ともに1977年)に優勝したダンファームリン、1953年の英ダービー2着で、翌年のキングジョージⅥ世&クイーンエリザベスS(エリザベス女王の父と母を冠したレース)に勝ったオリオールなどを所有。1954年と57年にはイギリスのチャンピオンオーナーにも輝きました。

### ●G1アイリッシュチャンピオンS〜ルクセンブルクが制す

9月10日にアイルランドのレバースタウン競馬場で行われたG1アイリッシュチャンピオンS(3歳上、芝2000<sup>米</sup>)はR.ムーア騎手を背に中団でレースを進めたルクセンブルク(牡3歳、父キャメロット、A.オプライエン厩舎)が今年のG1パリ大賞優勝馬オネストを差し切って優勝。昨年10月のG1フューチュリティトロフィーS(芝1600<sup>米</sup>)以来となるG1・2勝目をあげました。

### ●G2ニエル賞〜日本ダービー馬ドウデュースは4着

9月11日にフランスのパリロンシャン競馬場で行われたG2ニエル賞(3歳、芝2400<sup>米</sup>)に参戦した日本ダービー馬ドウデュース(牡3歳、栗東・友道康夫厩舎)は4着でした。またこの3レース前に行われたG2フォワ賞(4歳上、芝2400<sup>米</sup>)に出走した同厩舎のマイラプソディ(牡5歳)は6着でした。